



TITLE:

和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所"北浜"へのアオヒトデの漂着

AUTHOR(S):

山守, 瑠奈; 平澤, 康太; 久保田, 信

CITATION:

山守, 瑠奈 ...[et al]. 和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所 "北浜" へのアオヒトデの漂着. くろしお 2013, 32: 21-21

ISSUE DATE:

2013-10

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/188241>

RIGHT:

© 南紀生物同好会

くろしお, (32): 21, 2013

和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所
“北浜” へのアオヒトデの漂着*Linckia laevigata* washed ashore at “Kitahama beach” of the Seto Marine
Biological Laboratory at Shirahama, Wakayama, Japan

山守瑠奈* 平澤康太** 久保田 信***

アオヒトデ *Linckia laevigata* は棘皮動物門ヒトデ綱アカヒトデ目ホウキボシ科アオヒトデ属のヒトデである。日本の分布域は沖縄以南の浅海底で普通であり、地理的分布の北限である紀伊半島では稀とされている（西村, 1995）。佐波ほか（2002）によると、本種は熊野灘以南から主にインド・西太平洋の熱帯域に分布する（佐波・入村・楚山, 2002）。今回、2013年1月14日に和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所の“北浜”の岩場に破損したアオヒトデが初めて漂着したので報告する。

この個体は幅長20cmで、成体と考えられる（岡田ら, 1965）。5本の腕のうち2本が激しく損傷した状態で死亡漂着していた（図1）。当個体が発見されたのは午前7時半頃であり、同日の満潮は7時53分であったことから（気象庁, 2013）、傷つき移動能力を失った個体が満ち潮とともに漂着したものと考えられる。

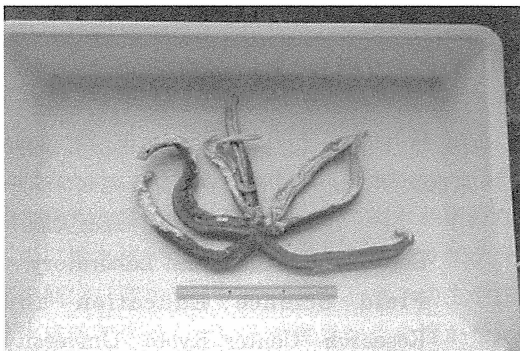


図1 和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所“北浜”に漂着したアオヒトデ

なお、京都大学瀬戸臨海実験所白浜水族館では2005年の1個体の飼育展示をかわきりに、アオヒトデは現在に至るまで継続飼育している（京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所, 2006-2012）。

引用文献

- 気象庁, 2013: 気象統計情報, 海洋の健康診断表, 潮汐・海面水位のデータ, 潮位表 白浜。
- 京都大学フィールド科学教育研究センター 瀬戸臨海実験所, 2002-2012: 瀬戸臨海実験所年報, 飼育生物種別集計表2005年-2011年。
- 西村三郎編, 1995: 原色検索日本海岸動物図鑑, II, 663. 保育社, 大阪。
- 岡田 要・内田清之助・内田 亨, 1965: 新日本動物図鑑, 下, 56. 北隆館, 東京。
- 佐波征機・入村精一・楚山 勇, 2002: ヒトデガイドブック. TBS ブリタニカ, 東京。

* (〒606-8502 京都市左京区北白川追分町)
京都大学農学部資源生物学科

** (〒606-8502 京都市左京区北白川追分町)
京都大学理学部化学専攻

*** (〒649-2211 西牟婁郡白浜町459)
京都大学フィールド科学教育研究センター
瀬戸臨海実験所